

当院は下記の調査を実施しています

記

課題名 膠原病・リウマチ性疾患合併妊娠の管理状況、妊娠中の疾患活動性及び妊娠・分娩転帰に関する多施設症例調査

調査の目的・意義

全身性エリテマトーデスや関節リウマチなどの膠原病・リウマチ性疾患を合併された妊婦さんの症例データベースを作成し、当該症例の実態把握と解析を行います。膠原病・リウマチ性疾患を患う方の妊娠において、臨床経過ないしは抗体価のプロフィールでリスクを予知し、適切な治療法が選択できることを最終的な目的としています。

調査の方法

膠原病・リウマチ性疾患をお持ちの方で、〇〇〇〇〇で2003年1月から2016年10月までに妊娠・分娩管理を受けられた方を対象として、下記の調査項目について、国立成育医療研究センターに送ります。国立成育医療研究センターでは、後方視的に解析し、治療の有効性や病態に関して検討を行います。新たにお問い合わせすることはありません。

➤ 調査項目

患者さんの性別、年齢、初診日、合併疾患、妊娠転帰、産後合併症の有無
発症（発見）時期、症状、治療歴、経過など

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報
は調査対象ではなく、
個人情報は保守されます。

調査実施機関

国立成育医療研究センター
東京都立多摩総合医療センター
昭和大学、横浜医療センター
帝京大学ちば総合医療センター
中部ろうさい病院、大阪医科大学病院

大阪府立母子保健総合医療センター

国立成育医療研究センター（HPにて概要を掲載 <http://www.ncchd.go.jp/>）

※ 調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが、下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者：〇〇〇〇〇

TEL :